

熊本ノーサイドクラブ主催

# 第一回花園ラグビー観戦ツアー

～感動と気づき～

【2020年1月2日・3日（第99回全国高校ラグビー準々決勝）】



## 目 次

巻頭にあたり・・・・・・・・・・・・・・・・	熊本ノーサイドクラブ 会長 笠 日出臣	1
花園観戦ツアーに参加して・・・・・・・・	荒尾市立荒尾海陽中学校 久家 博樹	2
花園へ行って感じたこと・・・・・・・・	熊本大学教育学部附属中学校 池田 恭盛	3
花園全国高校ラグビーを観戦して・・・	熊本大学教育学部附属中学校 上村 陸人	4
花園観戦を通して・・・・・・・・	熊本大学教育学部附属中学校 大迫 一輝	5
「花園観戦ツアー」・・・・・・・・	熊本ラグビースクール（益城中学校） 庄司 晴太	6
花園観戦ツアーに参加して・・・	熊本ラグビースクール（益城中学校） 永田 遙樹	7
花園準々決勝を観て・・・・・・・・	熊本大学教育学部附属中学校 濱北 晟奨	8
花園観戦ツアーに参加して・・・	熊本ラグビースクール（益城中学校） 三木 翼	9
花園観戦ツアー・・・・・・・・	熊本ラグビースクール（九州学院中学校） 山口 隆真	10
編集後記～子どもたちの夢は大人たちの夢～		11

（生徒の氏名は五十音順になっております。）

### 一日目:大阪へ～

【2020年1月2日】

熊本駅に8時半集合。新幹線で大阪へ。到着後、大阪城見学。

見学のあと、大阪城豊国神社に初詣。

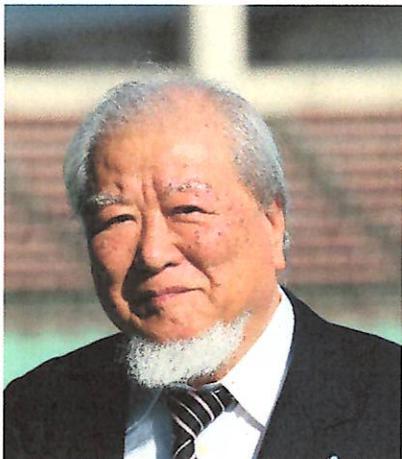
夜は焼肉食べ放題。（たくさん食べてくれました。）

### 二日目:第99回全国高校ラグビー大会観戦ツアー

【2020年1月3日（準々決勝）】

- 第1試合 流通経済大柏（千葉） 対 東福岡（福岡）  
10-57
- 第2試合 御所実（奈良） 対 東海大大阪仰星（大阪第3）  
14-10
- 第3試合 大阪桐蔭（大阪第1） 対 桐蔭学園（神奈川）  
12-31
- 第4試合 京都成章（京都） 対 常翔学園（大阪第2）  
24-27

観戦後、感動と興奮を胸に熊本へ。



## 巻頭にあたり

熊本ノーサイドクラブ 会長

筈 日出臣

皆様には、令和という元号のもとで初めてとなる新年を穏やかに迎えられたことと存じます。

去年は、ラグビーワールドカップにおける日本代表の活躍が全国民に感動と興奮、そして偉大なる勇気を与え、チームスローガンでもある「ワンチーム」は、流行語大賞にも選出されたほどでした。

ラグビーへの関心、興味が高まる中で、私たち関係者には、この好機を生かしていくための大きな使命と責務が課せられているものと認識しています。

このレガシーの一つとして、ノーサイドクラブでは、今年の前月に中学生を対象とした全国高校ラグビー大会の観戦ツアーを実施したところです。

初めての試みでしたが、8人の生徒さんは、ラグーマンらしく自主性を有し、規律正しく行動してくれました。

数年後には、彼らが花園ラグビー場の大観衆の前で、郷土熊本の代表として駆け回らんことを期待しています。

最後に、今回の企画にご支援いただいた中学委員会の先生方、保護者の皆様を重ねて御礼申し上げ巻頭の挨拶といたします。



## 花園観戦ツアーに参加して

熊本県ラグビーフットボール協会  
中学委員会総務委員長  
荒尾市立荒尾海陽中学校 教諭

久家 博樹

このたび、ノーサイドクラブ様の図らいで企画された花園観戦は参加した生徒にとって大きなものになった。

ラグビーの聖地である花園ラグビー場に足を踏み入れることは、熊本の中学生にとっては特別な意味をふくんでいる。また、全国ベスト8の試合を見ることで、そのスピード、体の大きさ、体の張り方など今までにないレベルを目の当たりすることができた。

参加した生徒の感想には、ここで感じたことを今後を活かしたいと綴られていた。高校生ラグビーの素晴らしいプレーに目を輝かせ、自分もこの場でプレーしてみたいという気持ちを持ってあげることができたのではないだろうか。今回、観戦したチームには熊本県出身の選手もいた。熊本県中学ラグビーを経験した、熊本県出身の高校ラグビーマンが花園で活躍する姿は、今回参加した生徒の心情にどんな変化を与えたであろうか。中学生を指導する私としては彼らの今後の楽しみである。また、ラグビーの指導のみならず、このような貴重な経験を積める場をもっと提供できばと思う。

今回の花園観戦が中学生ラグビーに多大な影響を与えるきっかけになればと感じている。「百聞は一見にしかず。」と言われるが、ラグビーの聖地『花園』を体感できたことは、彼らにとって大きな財産になることを信じていたい。

このような貴重な経験をさせていただいた、ノーサイドクラブ様に感謝の意を表したい。



## 花園へ行って感じたこと

熊本大学教育学部附属中学校 2年

池田 恭盛

僕はラグビーの聖地、花園ラグビー場に行き、たくさんの事を学び、楽しんだ。高校生の試合はとてもスピード感が僕たちと全然違っていた。みんな、確実にスピードをつけて当たり、ぬけなくとも、相手にダメージを与え続けていた。

これは少し意識を変えれば僕たちにもできることだと思う。一步、二歩下がれば助走距離ができ、スピードをつけてボールをもらう事ができると考える。このスピードプレーによってチームへの貢献につながり、自分も今より数倍の力を加えることができる。今回学んだことを今後のラグビースタイルにも取り入れていきたいと思った。

また、今回のような貴重な体験をさせて下さった、ラグビーノーサイドクラブの方々、笑顔で送り出してくれた両親に感謝の気持ちを持ちたいと思いました。



大阪桐蔭 対 桐蔭学園





## 花園全国高校ラグビーを観戦して

熊本大学教育学部附属中学校 2年

上村 陸人

僕は今回、花園を見学して、中学校で行っているラグビーとは違う点をいくつか見つけました。

そもそも、人数の差です。中学校は12人制ですが、高校のラグビーは、15人制です。3人しか違わないと、思いますがそれだけでもいろいろと変わります。

人数が多くなるのにコートが変わらないのでデイフェンスの間隔が狭くなります。中学生は、人数が少ないため、間隔が広がります。つまり、高校からはサインプレーでデイフェンスの穴を作る機会がやや少なくなり、フィジカル勝負が少し多くなります。デイフェンスの間を割るのではなく、自陣を広げていくために体を張る場面が多くなると思います。

また、高校になると、スクラムも押すようになり、よりコンタクトが多くなります。中学生はやや細身の人も多くいますが、花園に出ている高校生ラグーマンを見てもバックスでもとても体の大きい人が多かったです。そのために、僕はもっと体を大きくしたいと思います。また、サインプレーなども有効的に使いたいと思いました。

なかなか観ることのできない花園での準々決勝、とても感動しました。久家先生、ノーサイドクラブの皆さま、本当にありがとうございました。



流通経済大柏 対 東福岡





## 花園観戦を通して

熊本大学教育学部附属中学校 2年

大迫 一輝

僕は、今回の花園ラグビー観戦ツアーに参加させていただき、ラグビー全国大会を観戦して思ったことが二つあります。

一つめは、高校生ラグーマンの技術の高さです。彼らのパスやキックの精度は、僕たち中学生とは別次元のように感じました。また、アーリーキャッチやハンズアップ、低いタックルやコールなどの基本ができていて、ミスが少ないなと感じました。

二つめは、互いの信頼性の高さです。試合前には互いに鼓舞しあい気力を高め、試合中は良いプレーをすると褒め、ミスをする、「大丈夫、守りきろう」と、慰めあう。そして試合が終わると勝利の喜びを分かちあい、ともに悔し涙を流すこともあります。その様子を見て、まるであの15人は家族のようだなと思いました。

僕も全国大会まで出場できた時のメンバーは家族のような感じで、いつものメンバーでラグビーをすることに喜びを感じていました。そのぐらいの力強い信頼を結ぶことで試合でのプレーがあるのだと思いました。

引率してくださり、花園で、いろいろと教えてくださった久家先生をはじめノーサイドクラブの方々のおかげで多くの気づきと感動をいただきました。僕の、これからのラグビー人生に役立てていこうと思います。本当にありがとうございました。



御所実業 対 東海大 大阪仰星



## 「花園観戦ツアー」

熊本ラグビースクール

庄司 晴太（益城中学校）

僕は二日間の花園観戦ツアーにおいて思った事、感じた事が二つあります。

一つ目は、出場選手たちの闘気の凄まじさです。それは試合中だけでなく、試合前のアップの段階からも圧倒的で、実際に近くで見ていると鳥肌が立つ程でした。アップからあの様に試合と同じ気迫で行うからこそ、よいパフォーマンスが出来るのだと強く感じました。

二つ目は、選手たちの身体の大きさについてです。とにかく皆が大きい、というよりでかい！迫力が桁違いでした。選手たちの身体同士が当たる音はパンッと弾けるようで、自分たちの中学ラグビーとの差、違いを肌で感じる事が出来、今回のツアーに参加して本当に良かったと思いました。

この観戦で思ったり感じたりした事をこれからは生かして、これからの中学ラグビー、そして高校でもラグビーが出来るような身体もしっかり作っていこうと思います。

二日間ありがとうございました。



京都成章 対 常翔学園





## 花園観戦ツアーに参加して

熊本ラグビースクール

永田遙樹（益城中学校）

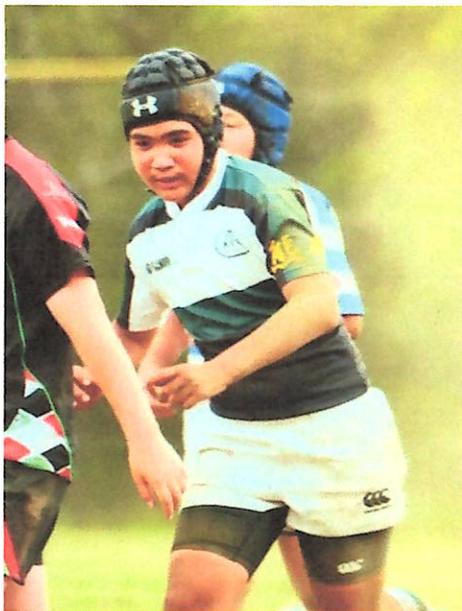
僕が今回の花園観戦ツアーで試合を見て思ったことは三つあります。

一つ目は、試合を生で見た時の迫力のすごさです。テレビで見ると違って、体の大きさや走っている速さ、当たる時の音などが、しっかり自分に伝わってくるので、すごいと思いました。

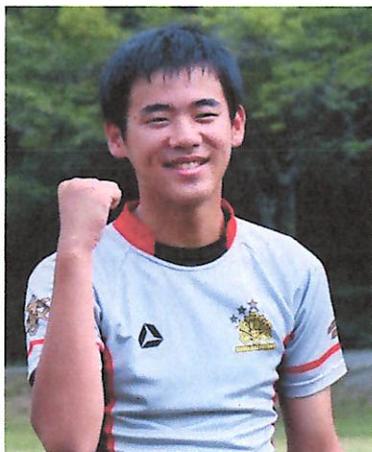
二つ目は、試合に出ている選手達の努力の多さです。最初に東福岡のアップを見て、動いていない、試合に出ない人達が大勢いて、試合に出る人達が少なかったなので、この試合に出る人達は相当努力をして出ているんだなということがわかりました。

三つ目は、試合を見ることの楽しさが増えたことです。改めて試合を見てみて、今まであまり考えずに見ていたけれど、いろんなことをもっと考えながら見ると、より一層、今までより試合観戦が楽しいことがわかりました。

今回の花園観戦ツアーは、僕にとってとてもいいものになりました。



流通経済大柏 対 東福岡



## 花園準々決勝を観て

熊本大学教育学部附属中学校 2年

濱北 晟奨

1月2日・3日で、僕は花園観戦ツアーに参加しました。試合を観て感じたことは、ゲーム中の判断の早さが重要だということです。

今回試合で見たどの高校も、その場、その場での判断が早く、それが点数に結びついているとおもいました。判断に対する一動作が素早くて、試合の展開素早く変わっているように感じました。

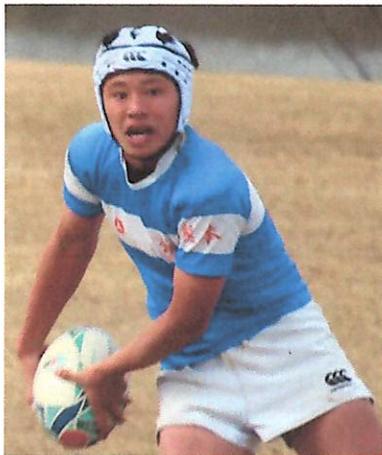
また、ディフェンスの時の姿勢がみんな低く、オフenseにたいし、ダブルタックルする場面がほとんどでした。オフenseも、オーバーに行くのが速かったり、ボールを持っている仲間のサポートに行くのが僕たちよりも素早かったりと、驚きの連続でした。

これからは、ディフェンスの時はより低い姿勢をイメージし、オフenseの時も周りをよく見て、より早い判断ができるようにしたいです。

花園に連れて行ってくださった久家先生、ノーサイドクラブの方々、とてもいい経験になりました。本当にありがとうございました。

京都成章 対 常翔学園





## 花園観戦ツアーに参加して

熊本ラグビースクール

三木 翼（益城中学校）

ぼくが、今回の花園観戦ツアーで感じたことの中で、良かったこと、うれしかったことが大きく三つあります。一つめは、大阪城を見学できたことです。そして、二つめは、夜ご飯です。

夜ご飯の食べ放題は、食べざかりの僕にとってはとてもうれしかったです。三つめは、全国の高校のトップチームを見ることができたことです。日本のトップの人たちをとて近くで見ることができ、自分の目標やこれからやらなければならないことがより明確になりました。

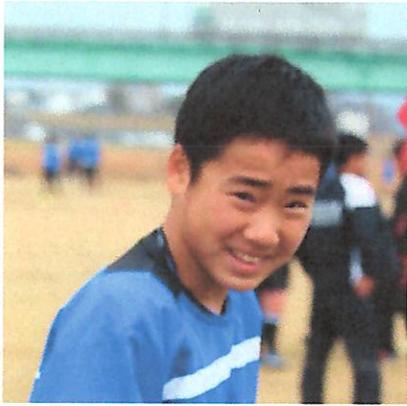
花園観戦ツアーでは、いろいろなことを学ぶことができました。今回、学んできたことを、今後の進学や進路などの参考にしていこうと思いました。

次回の観戦ツアーは、もっと大阪の楽しい場所など回れたらよいなとおもいました。



御所実業 対 東海大 大阪仰星





## 花園観戦ツアー

熊本ラグビースクール

山口 隆真（九州学院中学校）

1月2、3日で大阪へ。到着した2日は大阪城へ足を運び、3日は全国高校ラグビーの準々決勝を観戦しました。

大阪城はとても大きく迫力があり、江戸時代の歴史等を学ぶことができました。また神社にて新年の参拝をしました。夕食は大好きな焼き肉を食べ、楽しい時間をみんなで過ごしました。

3日は今回の目的であった花園で全国高校ラグビー準々決勝を観戦、とても迫力のあるプレーを目の当たりにしました。自分と同じポジションの選手を何人も見て学ぶことが出来ました。とても良い経験になりました。自分がこの場所に立てるよう努力しようと心に誓いました。

今回のツアーに参加でき、花園への思いがより一層強くなりました。最後に道頓堀など大阪らしい場所やグルメをもう少し楽しみたかったです。引率くださった先生、ノーサイドクラブの方、ありがとうございました。



大阪桐蔭 対 桐蔭学園



## 編集後記～子どもたちの夢は大人たちの夢～

東花園駅を降りて、遠くにラグビー場が見えた子どもたちは歓声をあげ、目を輝かせながら足早に会場へ向かいました。

高校生ラグーマンが『ラグビーの聖地』花園の舞台で一生懸命にボールを繋いでいく姿を観て、感動と興奮でいっぱいでした。

今回の参加生徒の中には、花園に出たいという生徒もいました。気づきの場を見せることにより、子どもたちの夢がより明確になったことと思います。子どもたちの夢の実現に少しでも近づくお手伝いをするのが私たち熊本ノーサイドクラブの責務だと思いました。

何年か経ち、「中学生の時に観た花園の試合で気づいて、今僕はこうやって頑張っています」という子どもたちがいてくれることを楽しみにしています。



令和2年1月 熊本ノーサイドクラブ編集